

7月21日県高校野球4回戦が行われ、本校は尼崎西高校と対戦しました。先発は2年高橋投手です。堂々のマウンドさばきで



三振の山を築き、ランナーを出さないピッチングを披露。守備も固く良い流れでした。攻撃は1回にフォアボールでもらったチャンスにバント失敗が響き、嫌な流れに



なりかけましたが、2回にタイムリーがでて3点を奪うと回を追う毎に調子を上げ、スクイズでダメ押し。5回までに8点を取り、6回表にヒットを2本続けられピンチを招きましたが、後続を断ち、7回の相手の攻撃を吉田投手がしっかりと締め、2戦連続のコールド勝ち。ベスト16に勝ち上がりました。その後抽選で23日10時から高砂球場で神戸科技高校との対戦が決まりました。選抜出場した東洋大姫路高校が敗れるなど波乱もあるようですが、一戦一戦つながりも出てきて社の野球になってきました。この調子で勝ち上がっ

てください。ここからの連戦は体力勝負です。最後まで諦めずに頑張りましょう。

7月21日・22日と陸上部は県ユース東播地区予選に臨んでいました。時折雨の降るコンディションでしたが、1・2年生が元気なところを見せてくれました。2年砲丸投優勝の須田選手はハンマー投も大幅な自己新で優勝。県大会での活躍を誓ってくれました。1年男子走高跳では神崎選手が1m93の好記録で優勝。1年男子400mH



では山田選手と足立選手が1・2位を占め、1年男子200mでは橋詰選手が1位、上地選手が3位と層の厚さを見せてくれました。他にも1位を占めた種目は多数あり今年1年女子も4名が奮闘して数種目で県大会出場を決めてい



ました。8月の県ユースに向けてしっかりと仕上げ、兵庫県で行われる近畿ユース大会に大勢で出場してください。お疲れ様でした。

また、21日から行われていた近畿高等学校バレーボール大会は、女子が1回戦和歌山北高校と対戦し、敗戦。男子は体調不良者が多数出たため棄権という残念な結果となりました。今回の経験を活かし、春高バレーの予選会では自分たちの思うような成績を収められるように頑張ってください。また、男女バスケット部はウィンターカップ兵庫県予選に出場。男子は敗者復活戦を勝ち上がり、県大会出場。女子は準優勝で県大会出場が決まりました。3年生最後の大会となりますので、最後までしっかりと頑張ってください。

7月23日には兵庫県高校野球5回戦が行われました。この日は2年年綱投手が先発。しっかりと抑えていくと、3回の攻撃で年綱投手の選んだ四球を活かし、1番大西選手がホームラン。その後後藤選手四球から福谷選手のタイムリーがでて、3点を先制。その後勝股選手の2ランホームランがでるなど5回までに8得点。5回終了時のグラウンド整備には3年生のボールボー13名が整備に参加。裏方に回った3年生の気持ちも大切にしながら試合に臨んでいる選手たちですが、2年高橋投手、3年



堀田投手とつないで7回コールド勝ち。ベスト8に入りました。準々決勝は優勝候補の報徳を倒した明石商業



との戦いとなりました。25日
ほっともっと球場で行われた
試合は、3年堀田投手が先
発。珍しく死球を与えるなど
ランナーは出すものの要所



要所を締める素晴らしいピッチングでした。相手ピッチャーもコースをきわどくつくナイスピッチングでつけいる隙が無かったのですが、ここ3試合3回の攻撃では必ず得点が入っており、期待してみると、後藤選手が四球で出塁すると走る構えから相手ピッチャーの牽制を繰り返させ、投じた甘い球を見逃さなかった福谷選手の打球はレフトスタンドへ。2点を先制しました。この2点を堀田投手が1安打完封で守り切り、昨年に引き続いてのベスト4進出。なんとここまで4試合続けて無失点試合が続いています。素晴らしい仕上がり具合です。保護者の皆様も連日応援に駆けつけていただき、ありがたいことです。準決勝は、長田高校とほっともっと球場で、27日13時プレーボールです。応援のほどよろしく願いいたします。

また、夏季休業に入り、体調管理をメールで知らせてくるように生徒たちにはお願いしました。補習に参加する生徒たちですが、連絡状況はあまりよくありません。しっかりと意識をして、体調チェックを知らせてください。高校での部活動でのクラスターがかなりでているようです。この状況が続くと教育活動に支障が出るかもしれません。今一度一人ひとりの感染防止への意識を高め、何とかこの状況を乗り切りましょう。よろしく願いいたします。

※24日神戸新聞朝刊運動面には神戸科技高戦でホームランを打った大西選手が写真入りで掲載されていました(左)。また、26日神戸新聞朝刊運動面には明石商業戦でホームランを打った福谷選手が写真入りで掲載されていました(右)。

